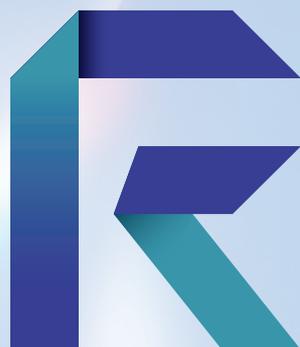


一般社団法人

理研未来革新アライアンス



**RIKEN
Future
Innovation
Alliance**

Message

「理研精神」を基に

知の創造と挑戦を



日頃より理化学研究所にご支援、ご協力を賜り誠にありがとうございます。

理化学研究所は、わが国唯一の総合的な基礎科学研究所です。多様な研究者一人一人の独自の発想を尊重し、互いに切磋琢磨する自由な環境の中で、知を創造し活用する道を探ることを「理研精神」として受け継ぎ、発展させ、創立以来107年、活動してまいりました。

地球温暖化、エネルギー問題、社会の分断や格差拡大といった様々な社会課題の解決のためには、今ある知識だけでは対応できず、新しい知恵が必要であり、価値づくりのものに取り組む必要があります。

理研では、基礎科学研究を未来の成長の機会を創る源泉と捉え、それが新たな価値を生み、そこに新しい産業が展開されていくことが重要であると考えています。

産学連携活動は、創立時からの理研の文化です。今必要なのは、単に研究成果を産業界に展開するだけでなく、将来を見据えて日本の産業全体の成長につなげるべく、産業構造を未来型に変えていく。そのためにもアカデミアが貢献できる余地は、非常に大きいと考えます。

基礎に立ち返り、新たな知を生み出し、それをもって挑戦する。今こそ、「理研精神」の出番です。理研未来革新アライアンスの会員企業の皆様とは、その前身である「理研と未来を創る会（旧：理研と親しむ会）」の設立以来、30年を超える長い交流を通じて、それぞれ独自の発想を尊重し、互いに切磋琢磨する中で知を創造し、活用する「理研精神」を基に、未来社会のビジョンを共有してきました。

この度の一般社団法人化を契機とし、現代の経済社会情勢に合わせて「理研精神」を一層発展させ、産業界と理研との交流をより活発化し、産業界の皆様と一緒に、新たな経済価値の創造と社会課題の解決に挑戦してまいりたいと考えております。今後とも、皆様のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

国立研究開発法人理化学研究所

理事長 五神 真

Corporate purpose

一般社団法人理研未来革新アライアンスとは、
理化学研究所と企業の未来を見据え活動します。

理研未来革新アライアンスは、理研の百年を超える歴史と「理研精神」を基に、未来社会のビジョンを共有し、その実現に向けて理研と産業界が相互に協力することで、新技術・新産業の創出を目指します。また、理研と会員、会員間が互いに切磋琢磨し、共に成長していくことを期待します。

具体的な活動として、理研との密接な交流を促進する講演会、見学会、

セミナーの開催や新技術・新産業の創出に向けた協力事業、さらには人材交流事業などを展開します。

従いまして、理研未来革新アライアンスの会員になることにより、以下のような多くのメリットが生じます。

1. ネットワーク拡大 理研および他の会員企業との密接な交流だけでなく国や自治体との接点を通じて、貴社のビジネスチャンスを広げることができます。
2. 最新技術情報の共有 理研の最先端研究や技術に関する情報をいち早く入手できる機会があります。
3. 共同研究・開発の推進 理研と連携し、新技術・新産業の創出に向けた共同研究や開発を進めることができます。
4. 人材交流と育成 理研の研究者や他の会員企業との人材交流を通じて、貴社の人材育成に役立てることができます。

未来社会への貢献と、

新たな創造のために

当法人は、昭和62年に「理研と親しむ会」として設立され、理化学研究所(理研)と企業の連携を深め、科学技術の社会還元を目指して活動を続けてまいりました。設立30周年を迎えた平成29年には、さらなる発展を期して「理研と未来を創る会」と改称し、産業界と理研との協力関係を一層強化するための様々な活動を展開してまいりました。

本年、当会は新たな段階へと進むべく、「一般社団法人理研未来革新アライアンス(RIKEN Future Innovation Alliance)」として法人化する運びとなりました。法人化により、活動の持続性を担保するとともに、社会的信用力の強化と透明性の確保を一層図ることが可能となります。これは、これまでの会員企業の皆様のご協力とご支援の賜物であり、心より感謝申し上げます。

現代社会は、新型コロナウイルスの拡大、気候変動、国際情勢の悪化など、多くの地球規模の課題に直面しています。そのような中、知識集約型社会へのパラダイムシフトが急速に進行しており、私たちの使命はますます重要となっています。理研の百年を超える歴史と「理研精神」を基に、私たちは未来社会のビジョンを共有し、その実現に向けて理研と産業界が相互に協力することで、新技術・新産業の創出を目指していきます。

具体的な活動として、理研との密接な交流を促進する講演会、見学会、セミナーの開催や新技術・新産業の創出に向けた協力事業、さらには人材交流事業などを展開し、会員の皆様にとって意義のある会にしてまいります。これにより、理研と産業界が互いに切磋琢磨し、共に成長していくことを目指しています。

私たち理研未来革新アライアンスは、理研と産業界の連携を一層深め、未来社会の課題解決に貢献する新たな産業の創出に取り組んでまいります。皆様のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人理研未来革新アライアンス

会長 足立正之



Schedule

主な活動とスケジュール

1 毎年5月ごろ開催 総会

会員企業が一堂に会し、会の運営、年間事業計画等について議論します。

2 毎年5月及び11月ごろ開催 理事会

役員企業により、具体的な運営、特に事業活動の企画立案等について議論します。

3 毎年9月ごろ開催 見学会・講演会

理研の研究施設や研究室の見学とともに、最新の研究成果等について講演があります。

4 毎年11月ごろ開催 セミナー

理研と会員企業の役員、研究者・技術者がセミナーを通じて、社会課題の解決や新技術・新産業の創出に向けて議論します。

5 毎年2月ごろ開催 理研と産業界との交流会

理研の研究動向についての講演や外部の講師をお招きした講演会を実施します。さらに、理研の研究成果のパネル展示をもとに、理研と会員企業の役員、研究者・技術者の交流の場を提供します。

一般社団法人理研未来革新アライアンス 会員

正会員 (16社・50音順)

科研製薬(株)	(株)ポーラ・オルビスホールディングス	(株)理研イノベーション	リケンテクノス(株)
(株)トプコン	(株)堀場製作所	理研計器(株)	理研電線(株)
日本電子(株)	理化学研究所	理研香料工業(株)	理研ビタミン(株)
パナソニックホールディングス(株)	(株)リケン	理研製鋼(株)	(株)リコー

賛助会員 (85社・50音順)

(株)浅井ゲルマニウム研究所	(株)JSOL	日本精工(株)
旭化成(株)	シスメックス(株)	日本製鉄(株)
味の素(株)	(株)島津製作所	(株)日本医化器械製作所
(株)梓設計	(株)ジャスト	日本高周波(株)
アストロデザイン(株)	シュレーディングー(株)	日本電技(株)
(株)ADEKA	信越化学工業(株)	(株)服部
アドテック(株)	住重加速器サービス(株)	浜松ホトニクス(株)
(株)新井組	住友化学(株)	ピアス(株)
家田化学薬品(株)	住友重機械工業(株)	(株)日立製作所
池上金型工業(株)	住友電設(株)	富士通(株)
(株)池田理化	(株)先端力学シミュレーション研究所	富士レビオ(株)
(株)猪名川動物霊園	仙波糖化工業(株)	(株)本田技術研究所
(有)ウェルファ	第一三共(株)	三井不動産(株)
(株)ウェルビー	大正製薬(株)	三菱ガス化学ネクスト(株)
(株)大阪真空機器製作所	大陽工業(株)	三菱ケミカル(株)
(株)大塚製薬工場	高砂香料工業(株)	三菱電機(株)
キッコーマン(株)	高砂熱学工業(株)	三菱電機ディフェンス&スペーステクノロジーズ(株)
キヤノン電子(株)	竹田理化学工業(株)	武蔵エンジニアリング(株)
(株)きんでん	(株)竹中工務店	Meiji Seika ファルマ(株)
クミアイ化学工業(株)	デクセリアルズ(株)	森永乳業(株)
(株)クリハラント	(株)東芝	(株)ヤクルト本社
ケンブリッジコンサルタンツ(株)	東ソー(株)	山崎製パン(株)
興研(株)	東レ(株)	(株)山下設計
(株)埼玉りそな銀行	(株)常磐植物化学研究所	ヤマト科学(株)
佐藤製薬(株)	戸田建設(株)	理研軽金属工業(株)
三機工業(株)	(株)トヨタコンポジット研究所	(株)理研数理
山九プラントテクノ(株)	(株)日建設計	理研農産化工(株)
三正設備工業(株)	(株)日清製粉グループ本社	
サントリーホールディングス(株)	(株)日本触媒	

入会手続き



定款(抜粋)

(目的)

第3条

当法人は、国立研究開発法人理化学研究所(以下、「理化学研究所」という。)と産業界の密接な交流の下、進むべき未来社会のビジョンを共有し、その実現に向けて理化学研究所と産業界が相互に協力することで新技術・新産業の創出に資するとともに、社員間の連携協力による産業の発展に寄与することを目的とする。

(事業)

第4条

当法人は、前条の目的に資するため、理化学研究所の主体的な参画を得て、次の事業を行う。

- (1) 理化学研究所と産業界との交流事業
- (2) 講演会、見学会及びセミナー等の事業
- (3) 産業発展に寄与する社員間の連携協力を促進するための事業
- (4) 新技術・新産業の創出に向けた理化学研究所と産業界の相互協力を促進するための事業
- (5) 理化学研究所と社員との人材交流の事業
- (6) その他上記に附帯関連する業務

組織規程(抜粋)

(社員及び会員)

第2条

当法人定款第6条に定める社員は、当法人の目的に賛同し、入退会規程(規程第3号)の手続きによって会員となった者を以て充てる。

- 2 会員は、原則団体とし、個人であることを妨げない。
- 3 会員は、正会員および賛助会員により構成する。
 - (1) 正会員は、当法人の事業を推進する。
 - (2) 賛助会員は、当法人の事業を賛助する。
 - (3) 正会員、賛助会員は、原則として当法人が実施するすべての事業に参加することができる。
 - (4) 非会員のうち、会の事業に臨時に参加を希望する者を準会員として、会の事業に参加させることができる。その際、必要な会費を徴収することができる。

会費(年額) 会費規程より

1. 正会員

- (1) 会長、副会長、理事、監事が所属する 200,000円
団体または個人
- (2) その他の団体または個人 150,000円

2. 賛助会員の会費

- 団体または個人いずれも 100,000円

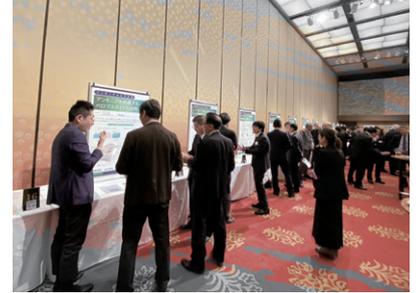
3. 準会員

- 会員以外の者が、個別の事業に参加する場合、準会員とし、その会費は、原則として会の事業ごとに参加者1名につき 30,000円

History

沿革

- 1987 ● 9月 「理化学研究所と親しむ会」設立
初代会長：太田幹二(科研製薬株式会社 取締役会長)
- 1988 ● 3月 第1回「産業界との交流会」開催(266社391名 出席)
- 1993 ● 9月 第1回 講演会・見学会開催
- 1995 ● 11月 第1回 小サークルセミナー開催
- 2002 ● 5月 会長：曾根博(理研ビタミン株式会社 相談役)
- 2003 ● 11月 小サークルセミナーを賛助会員参加可能なセミナーに拡大
- 2004 ● 5月 会長：小口邦彦(株式会社リケン 特別顧問)
- 2007 ● 9月 理事会員企業・賛助会員企業などの寄付により、
理研和光キャンパス内に 理研-産業界連携ギャラリー開設
- 2008 ● 5月 会長：堺美保(理研ビタミン株式会社 取締役社長)
● 11月 第1回 分野別技術交流会開催(以後2010年まで)
- 2012 ● 5月 会長：小泉年永(株式会社リケン 取締役会長)
- 2014 ● 5月 会長：桜井正光(株式会社リコー 特別顧問)
- 2017 ● 4月 理化学研究所創立百周年記念事業において、創立百周年
記念交流会を理研と共同で開催
会員企業から百周年タイムカプセル事業に参画
● 5月 会長：近藤史朗(株式会社リコー 取締役会長)
● 7月 事業の見直しとともに「理研と未来を創る会」に名称変更
- 2020 ● 5月 会長：岡野教忠(株式会社リケン 名誉会長)
- 2022 ● 5月 会長：足立正之(株式会社堀場製作所 代表取締役社長)
- 2024 ● 10月 一般社団法人理研未来革新アライアンス設立
会長(代表理事)：足立正之(株式会社堀場製作所 代表取締役社長)



※会長の肩書は就任時



一般社団法人
理研未来革新アライアンス

事務局

〒351-0198 埼玉県和光市広沢2番1号

e-mail: contact@rikenalliance.org

https://rikenalliance.org/



国立研究開発法人
理化学研究所

連携促進本部 連携促進部

〒351-0198 埼玉県和光市広沢2番1号

https://www.riken.jp/collab/

